

平成31年(令和元年)度 (2019)

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹情報デザイン専門学校

# 学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹情報デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、平成31年（令和元年）度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和2年 3月 31日

学校法人穴吹学園 穴吹情報デザイン専門学校

学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹情報デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹情報デザイン専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会

(委員)

高橋 宏之	株式会社ワンライト 代表取締役社長
田島 建彦	元高等学校校長
浅津 麗	保護者
森島 裕策	本校卒業生
池田 侑佳	本校卒業生

(学校教職員)

藤井 悦子	穴吹情報デザイン専門学校 校長
信岡 誠三	穴吹情報デザイン専門学校 副校長
壽福 英尚	穴吹情報デザイン専門学校 教務部長
高橋 忍	穴吹情報デザイン専門学校 教務課長

## 3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和2年3月18日（水） 19:00～20:00

開催場所 福山校東町校舎C406教室

## 4. 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」、「目的」及び「平成31年（令和元年）度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

## 5. 意見交換・質疑応答

<自己評価結果について>

- ①インターンシップを受け入れたこともあるが、出来ていないのか。  
→全員には実施出来ていない。世の流れはインターンシップになってきているが、業種にもよるところがある。
- ②広島のある専門学校のプロテクト者から、学校からの連絡がほとんど無いので、どのような生活をしているのか分からない。学校では保護者とどのような連携が取れているか。  
→保護者アンケートの指摘からも、連携はあまりできていないところ。  
→保護者会も立ち上げているが、十分機能できていない。今後の仕組み作りが重要である。  
→年1回でも2回でも開催できれば安堵感を与えられる。
- ③耐震工事の予定は。  
→入船校舎は着手。古い校舎から順次計画していく。
- ④質問項目に対してしっかりと実施出来ているところが多いと思う。逆に良い評価から悪い評価となった項目はあるのか。  
→項目 7-3-a は○から×へ変更。入学前の教育について、学校・学科の特色や教育を反映した内容に検討中。来年度から実施予定。
- ⑤全国的に他の専門学校の評価もA評価が多いのか。  
→職業実践専門課程を申請し、認可されている学校はA評価の学校が多いと思われる。(全専門学校の4割程度)
- ⑥学校評価を学生、保護者へ還元して、どのような感想や考えを改める取り組みはあるか。社会貢献、地域貢献できる人材育成をする取り組みができれば穴吹の評価が上がると思うが。  
→保護者アンケートの機会にて保護者へ還元する。
- ⑦教職員が率先して清掃活動をする項目が×だが、○にするのはすぐできると思うが。また、○にする必要があるのか。  
→次年度以降、ボランティア清掃等に取り組んで対応していきたい。
- ⑧以前はボランティア清掃活動を行っていたが。  
→ボランティアをする場合、逆に迷惑を掛けている例もあるようなので、上手に指導し、しっかりと地域に貢献していきたい。
- ⑨総括と今後の課題
  1. 入学目標  
95名出願目標に対し 125名の出願にて目標達成
  2. 退学目標  
3%目標に対し4.8%見込のため未達成  
ハイパーQ.Uなどを利用して担任任せでなく組織として退学抑止をしたい

3. 新規挑戦目標

新規産学連携を複数実施。

次年度は学科の偏りを無くし、全学科業界との連携を再検討する。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上